

へきがえがこふんせかい

壁画が描かれた古墳の世界



～福岡県(ふくおかけん) 王塚古墳(おうづかこふん)を中心(ちゅうしん)に

5～6世紀(せいき)の九州(きゅうしゅう)では、死者(ししゃ)をほうむる石棺(せっかん)や石室(せきしつ)の壁(かべ)に、いろいろな文様(もんよう)や絵(え)を描(か)くという、独特(どくとく)の文化(ぶんか)がありました。

なかでも、6世紀前半の前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)である福岡県(ふくおかけん) 王塚古墳(おうづかこふん)は、その石室(せきしつ)の壁全体(かべぜんたい)や埋葬(まいそう)する場所(ばしょ)に、さまざまな文様(もんよう)や人物(じんぶつ)、馬(うま)などの絵(え)がたくさん描(えが)かれており、壁画古墳(へきがこふん)のなかでもトップクラスの古墳(こふん)です。

今回(こんかい)のくらぶでは、王塚古墳(おうづかこふん)の壁画(へきが)を中心(ちゅうしん)に、九州地方(きゅうしゅうちほう)に多(おお)い装飾壁画(そうしよくへきが)の不思議(ふしぎ)と魅力(みりょく)をお話(はな)しいいただきます。ふだんは見(み)ることのできない写真(しゃしん)も見(み)せてもらえるかも!! 装飾壁画(そうしよくへきが)の謎(なぞ)を知(し)りたい人は遊(あそ)びにきてね♪



Zoomによるオンライン談話会

日時：10月18日(日) 10時～11時
参加者：小学生
参加費：無料 ※「きくだけ参加」は中高生も可

おはなししてくれる先生



しげふじ てるゆき
重藤 輝行 先生

佐賀大学(さがだいがく)の教授(きょうじゅ)。1968年大分県生まれ。福岡県教育庁文化財保護課、佐賀大学文化教育学部を経て、2016年より現職。専門は古墳時代～古代の九州の考古学。近著(きんちょ)に、『東アジア考古学の新たな地平』(中国書店、2024年)、「九州における横穴式石室の展開 一編年・地域性・階層性の概観一」(同成社、2020年)等、多数。

